適性検査Ⅰ 【解答例】

1

(1)	イ → ウ → ア
(2)	けい光灯
(3)	<p>青森県内の1家庭の電気使用量は、1960年度から2005年度にかけて増加し続け、2005年度は1960年度の約7倍にもなっている。</p> <p>また、青森県の1家庭の平均人数は、1960年から2005年にかけて減少し続け、2005年は1960年の半分近くまで減っている。</p> <p>2つのグラフから、青森県では、一人あたりの電気使用量が、昔と比べて大きく増えてきているということが読み取れる。</p>
(4)	[記号] イ
	[理由] <p>アとイのグラフを比べると、イのグラフは、「工場など」のしめる割合が大きく、全体の電気の年間使用量がとても多い。県内で工場が多いのは、工業地域がある八戸市であり、工場が多いぶん電気の年間使用量も多くなると思う。そこで、イが県南地区の電気使用の内容を表したグラフだと考えた。</p>
(5)	[写真に写っている場面の説明] <p>例1 夜、明るい電灯の下で電気ストーブをつけて、家族みんなでテレビを見てくつろいでいる場面など、電気が生活に欠かせないものであることが分かる写真。</p> <p>例2 だれもいない教室に電灯が明々となっている場面など、電気のむだづかいをしていることが分かる写真。</p>
	[発表内容] <p>例1の発表内容</p> <p>わたしたちは、今、電気のおかげで、昔と比べて、とても便利な生活をしています。明るい部屋で暖かいストーブにあたりながら、好きなテレビを楽しめるのも、すべて電気があるおかげです。</p> <p>でも、生活が便利になったぶん、電気の使用量もどんどん増えてきています。夏にはエアコンの使いすぎで、電気が足りなくなったというニュースも聞きました。このままでは、電気が自由に使えなくなってしまうかもしれません。</p> <p>使わない電気製品のスイッチはこまめに切るなどしてむだづかいをやめ、大切な電気を上手に使うように心がけましょう。</p>
	<p>例2の発表内容</p> <p>休み時間や放課後、だれもいない教室に電灯がつけっぱなしになっているのを見ることがあります。これは電気のむだづかいです。</p> <p>電気はわたしたちのくらしをささえる大切なエネルギーです。電気のおかげで、わたしたちは毎日楽しく快適に過ごすことができます。しかし、電気の使える量には限りがあります。もし、電気が足りなくなってしまうととても不便になりたいへんです。</p> <p>だれもいない教室などの電灯はきちんと消すようにして電気のむだづかいをやめみんなで電気を大切に使うようにしましょう。</p>

2

(省略)